

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。
ちっち組の担任をさせていただきます、内山咲希と修行理那と申します。

【年間目標】

ちっち組の一年間は、心身の健康の土台が形成される時期です。この土台をしっかりと築いていくことが、その後の健やかな発達に繋がっていきます。

①心地よい生活の中で、食事・睡眠・排泄・清潔などの基本的生活習慣を育んでいく

・子どもたち一人ひとりの発達に合った環境の中で、子どもの生理的なリズムを尊重しながら、健やかな生活が送れるようにしていきます。しっかりと寝て、起きた子どもの心は安定し、その安定した心が、子どもの探索活動をより活発にさせ、たくさん遊んだら、おなか为空き、楽しく食事をする事で食への興味がわき、お腹がいっぱいになった心地よさが子どもたちを眠りに誘うといった、心地よい生活リズムを育んでいきたいと思います。また、清潔になる心地よさは、経験を通して育まれていきます。例えば、おむつが濡れているのを感じているとき、「気持ち悪いね」という気持ちの伴った言葉がけとともにおむつを交換し、その結果、濡れていたときとは異なる、乾いたさらさらとした感覚を「さっぱりしたね」という気持ちの伴った言葉とともに経験することを繰り返す中で、清潔に対する心地よさの感覚が育まれていきます。

子どもの生活は、園と家庭、両方によって成り立っています。家庭と連携を図りながら、日中の過ごし方や家庭での過ごし方を一緒に考えていきたいと思っています。「睡眠」や「日中の戸外での活動・適度な運動」など、心身の健康に大きく影響を与える生活リズムですが、ちっち組の頃からしっかりとその土台を作っていきたいと思います。

②応答的な関わりのもとで自分の気持ちを十分に表現し、身近な人と気持ちが通じ合う喜びを味わう

温かく応答的な関わりを通して、自分を肯定する気持ちが育まれていきます。それは、生涯にわたって、人との関わりの中で生きていく力の基礎となります。

また、子どもは、自分の思いが受け止められる喜びと安心感に心地よさを感じます。その体験を重ねる中で、身近な人に信頼感をもつようになり、「伝えたい」「分かってもらいたい」という、表現することへの意欲を高めていきます。同時に、言葉にならない思いの意味と言葉の音声との繋がりを持ち、言葉を理解することにも繋がっていきます。

生きていく力の基礎を培う大切なこの時期、子どもたち一人ひとりを大切に丁寧に保育していきます。

また、子どもたちの生まれながらにもつ力を引き出していくために、生まれ持つ力を信じ、先回りしないよう、一人ひとりの育ちを理解し、そのうえで必要な援助をしていきます。なんでもやってあげるのでは、その伸びようとする力を奪ってしまうことになります。や

ってみようとする意欲を大切にし、見守っていくことを大切にしていきます。

家庭での生活から、保育園という集団での生活になるにあたり、不安も多いことかと思えます。友だちとの関わりも増える中で、様々な感情を味わったり、経験していきます。また、友だちとの関わりが増えることで、友だちへの興味から、顔を触ってみたり、といったこともあり、思わぬ怪我にもつながりやすいです。自分の思いを言葉にして伝えることがまだ難しい分、友だちに手や口が出やすい時期でもあります。赤ちゃんの肌はやわらかく、傷つきやすいため、お子さんの肌やお友だちの肌を守るためにも、こまめな爪切りと爪のやすり掛けをお願いいたします。職員で連携して丁寧に見ていきますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

【園長先生から】

園で大切にしていきたいこと

【クラスの懇談】

子どもの名前の由来